

HSDPA方式のフィールド試験を開始

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:津田志郎)は、第3世代移动通信システムへの高速データ通信サービスの導入を目指し、本日付けでHSDPA(High Speed Downlink Packet Access)システムの実験用無線局の免許を取得し、フィールド試験を開始しました。

HSDPAは、3GPPのリリース5仕様で定義された高速データ通信方式で、ダウンリンクの高速パケット通信(理論値:最大14.4Mbps)を提供します。日本国内においても、本方式の導入が適当であるとの電波監理審議会の答申を受け、関係法令の改正作業が進められています。本フィールド試験は、実際のフィールド環境でHSDPAシステム技術評価を行うことにより、商用システムの導入を促進させることを目的としています。

本日開始するフィールド試験は、2GHz帯の周波数を使用して、東京都江東区およびその周辺で実施します。

以上

- Vodafone およびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plc の登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは、世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。

HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)

HSDPAは、3GPPのリリース5仕様で規定された高速データ通信技術です。現在のW-CDMA方式ではデータ伝送速度は384kbpsまで実現されていますが、この技術を用いることにより理論上最大14.4Mbpsの高速データ通信サービスが可能になります。HSDPAは現在採用されているシステムとの親和性・互換性が高く、W-CDMA方式で高速データ通信サービスを提供するためには不可欠の技術として開発が進められています。

